

新規事業評価調書

【交通安全施設事業】

一般国道 178号

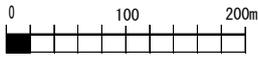
(香美町香住区七日市)

県土整備部

土木局 道路保全課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 松田 智 (主幹 山名 孝志)	内線	4389 (4399)	
事業 種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地 補償費	着手予定 年度	完了予定 年度
交通安全 施設事業	一般国道 178 号	香美町香住区 <small>なぬかいち</small> 七日市	4.8 億円	3.5 億円	平成 28 年度	平成 32 年度
事業目的			事業内容			
<p>○安全な自転車・歩行者通行の確保</p> <p>当該区間は、香住小学校の通学路で、また、香住第一中学・香住高校の通学にも利用され、自動車交通も多い中、歩道が未整備で、非常に危険な状況となっている。</p> <p>このため、自転車歩行者道を整備し、通学児童をはじめとする自転車・歩行者の安全を確保する。</p>			<p>歩道設置（片側） 延長：220m 幅員：3.5m</p> <p>【現況交通量】 自動車： 5,849 台／日（H22 センサ） 自転車： 182 台／12h（H27 実測） 歩行者： 56 人／12h（H27 実測）</p> <p>【負担割合】 国：55% 県：45%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 当該区間は、香住幼稚園・小学校（約70人）や周辺の中学（約30人）、高校（約110人）への通学に利用され、自動車交通も多い中、歩道が未整備であるため、歩行者および自転車は、狭い路肩（50cm）を通行せざるを得ず、非常に危険な状況である。特に、小学生は、当該区間が危険であることから、やむなく信号機のない2箇所国道を横断し、遠回りとなる地区内の町道を通学している。</p> <p>② 当該区間の整備が完了すれば、東側の整備済区間とあわせて、小学校等への連続した安全な通学路が確保される。</p> <p>③ 周辺には旅館や民宿が約40件と多く、大型バスをはじめ、観光車両の通行が多く、特に、冬季には、歩行者が積雪によりさらに狭くなった路肩や車道を歩行するため、大変危険な状況である。</p> <p>④ 過去5年の全事故件数は6件、うち自転車・歩行者の関係する事故は4件。</p> <p>⑤ JR香住駅、土産物屋やカニ直売所等にも近く、また、山陰海岸ジオパークの但馬松島等のジオサイトへのアクセス道路に利用されるなど、観光振興にも寄与する道路である。</p>					
(2) 有効性 ・ 効率性	<p>① 自転車歩行者道の整備により、通学児童等の安全な通行が確保される。</p> <p>② 本区間は、都市計画道路七日市線として都市計画決定済み。</p>					
(3) 環境適合性	歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。					
(4) 優先性	<p>① 学校関係者、地元住民、道路管理者等で実施した通学路合同点検において、当該区間での通学児童の危険性が指摘されており、香美町の「通学路交通安全プログラム」に本事業が位置づけられている。</p> <p>② 七日市交差点西側歩道未整備区間の中で、最も危険な国道横断箇所が存在する当該区間を優先する。</p>					

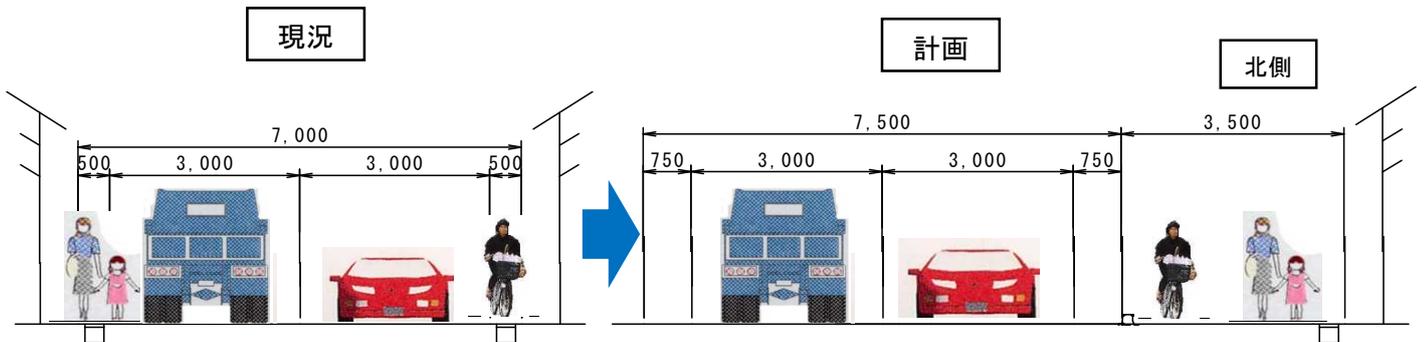


平面図

凡 例	
事業区間	— (Red line) —
国道	— (Blue line) —
県道	— (Green line) —
既設歩道	— (Black dashed line) —
通学路	— (Orange line) —
学校	● (Yellow circle)



横断図



自転車・歩行者通行状況



整備スケジュール

工種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
測量・設計					
用地取得					
本工事					